



いきいき、わくわく、ふれあいの輪！

ボランティア



大田区社協
イメージキャラクター
あいちゃん

2021年10・11月号

コミュニケーション



今号のトピックス

いざという時の 地域の“チカラ” 災害ボランティア

社会福祉法人 大田区社会福祉協議会

おおた地域共生ボランティアセンター
TEL.3736-5555 FAX.3736-5590

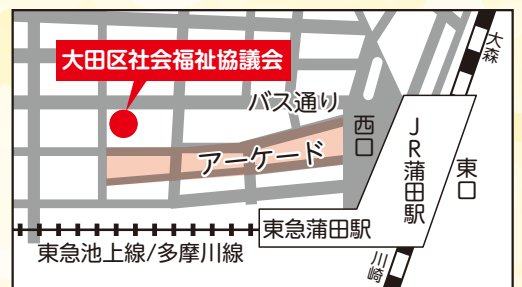
〒144-0051 大田区西蒲田7-49-2大田区社会福祉センター5F

開所日時：(月)~(土) 9:00~17:00 《祝日・年末年始を除く》

メール：voc@ota-shakyo.jp

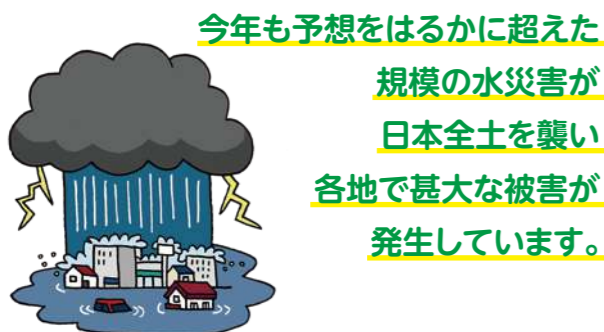
HP：https://www.ota-shakyo.jp

この情報誌
ここからも読めます！



いざという時の地域の“チカラ” 災害ボランティア

地震や水害などの災害が発生した際、被災地では災害ボランティアによる支援活動が大きな力を発揮します。大田区では、被災後の生活再建のために、災害ボランティア活動希望者の受入れ、情報提供、道具の貸出などを行い、派遣場所に必要の人員を配置します。ここでは、災害ボランティアの理解と協力について案内します。



今年も予想をはるかに超えた規模の水災害が日本全土を襲い各地で甚大な被害が発生しています。

〈令和元年 台風19号・田園調布地区の被害の様子〉



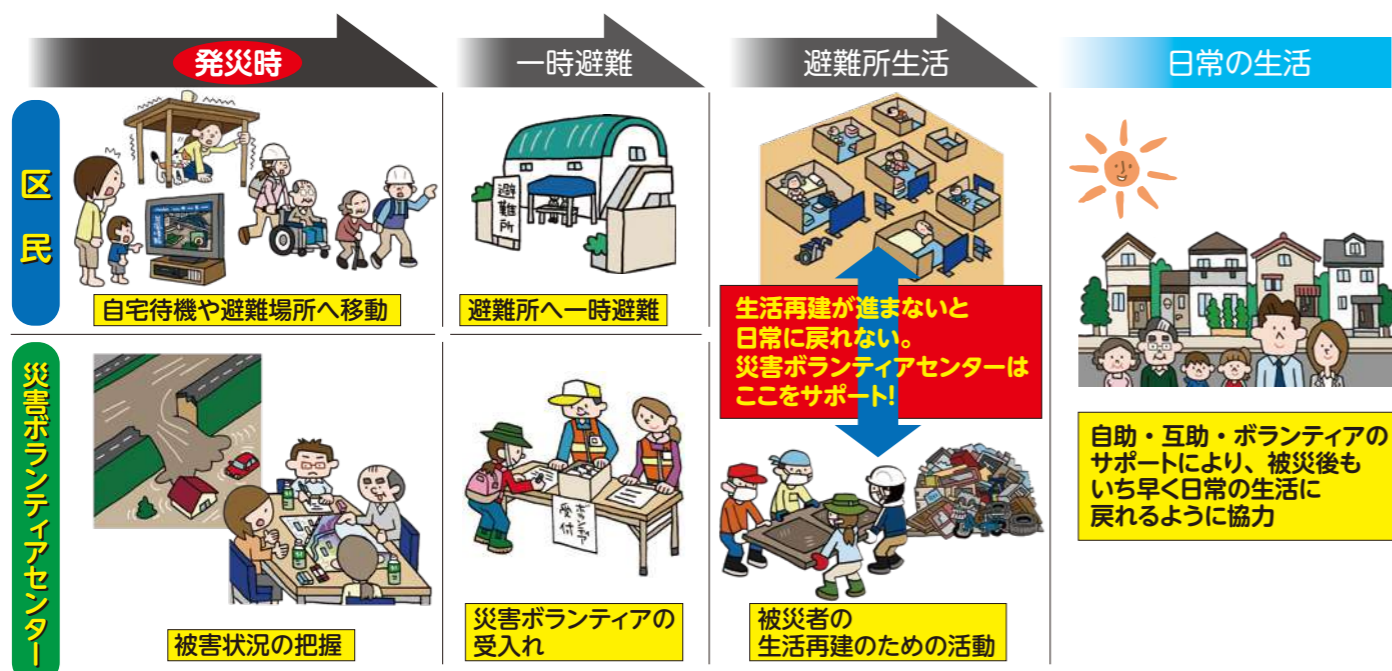
防ぎようのない大きな災害では、誰もが被災者になる可能性が高く、被災された方の中には、自宅の復旧作業を単独で行えない人もいます。



被災した後の生活再建をどのように行っていけば良いのかを知っておくことも大切です。そんな時、大きな力となるのが災害ボランティアです！

1 災害ボランティアって？

災害ボランティアは、生活再建をいち早く進める役割を担います！



2 三者協定によるセンターの運営

他の自治体にはない、区・社協・地域団体との三者協定で、災害ボランティアセンターの運営を行っているのが大田区の強みであり、特徴です。それぞれの強みを生かし、日々の準備、運営に備えています。



3 大田区の災害ボランティアセンターの活動紹介

おた社協では、区民の皆さんに災害ボランティアの存在を知っていただく取り組みを行っています。

災害ボランティア活動初めて講座
～活動への入口はこちらです！～
を開催しました。

9月10日(金)大田区社会福祉センターにて講座が開催されました。当日は、被災地ボランティアとしての経験を持つ大島佐千子さんをお呼びし、活動にあたっての心構えや、被災者の方との交流を通じて得られた貴重な体験をお話いただきました。



実際に活動された方のお話は、とても重みのあるものでした。自分も何かしなければと強く感じました。
50代 男性

地域活動に活かせればと思い、受講しました。被災地でのボランティア活動で学んだ事が、地域で活かされるということに感銘を受けました。
50代 女性

来て見て知って災害ボランティアを開催します！
お土産もあるよ

災害ボランティアセンターの役割を体験型で知る講座・イベントを開催します。百聞は一見にしかず。是非ご参加ください。

実施場所：田園調布せせらぎ館 (田園調布1-53-12)

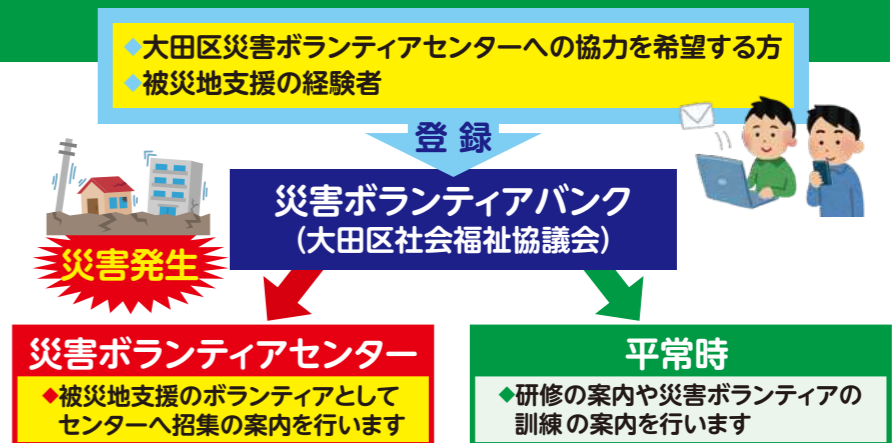
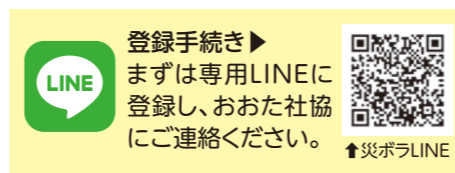
- 第1弾 『災害ボランティアのススム(講座)』 10月9日(土) 14時～15時
- 第2弾 『災害ボランティア初めて体験』 10月9日(土) 15時～16時
- 第3弾 『クロスロードゲーム(講座)』 10月23日(土) 14時～16時



定員 各30名(先着順) 下記連絡先にて事前申込
参加希望の方は、いずれも事前におた社協までご連絡ください。
TEL 3736-5555

4 災害ボランティアバンク

いざという時に、大田区で災害があった時に駆け付けてくれる方を募集しています。まずは、LINE登録をお勧めします。災害時には、招集のご案内をさせていただきます。平時は、研修や講座等の案内を行います。





大田区のこども食堂の“今”をお伝えします!

大田区には、30ものこども食堂が活動をしているのをご存じですか? こども食堂は、地域の子どもたちを含め、地域の皆さんの心が安らげる居場所にもなっています。現在、こども食堂の多くはコロナ禍の影響を受け、みんなで食事のできる場の確保が難しくなっているのが現状です。そんな中でも、知恵と工夫を凝らし、様々な取組みを行っています。ここでは、コロナに負けないこども食堂の取組みを一部紹介します。

こども食堂のいま

大田区のこども食堂はお弁当配布やフードパントリー(食料配布)に切り替えたり、イベントを行ったり、工夫を凝らしながら活動を続けています。



フードパントリー(食料配布)を開催しています

子どもたちにかき氷や駄菓子をふるまっています

お弁当配布をしています

スタンプラリーやプール開放をしました



新たなこども食堂のカチ ~企業の社会貢献の活動~

※現在の活動状況について最新の情報は、大田区社会福祉協議会へお問い合わせください。

昨今は、企業の皆さんが社会貢献の取組みの一つとして、こども食堂を行うケースが増えています。

感動キューブ様

区内1か所こども食堂を運営

合言葉は、笑顔×感動×繋がり!
私たちは、食を通じて地域の皆さまに支えられて事業を継続してきました。今度は私たちが、笑顔と感動にあふれ、地域の皆さまとココロの繋がりが持てるような「感動こども食堂」を毎日開催できるように頑張っています!

感動こども食堂HP

株)テンポイノベーション様

区内2か所こども食堂を運営

飲食店に特化した転賃借事業を展開する当社は、こども食堂を運営する店子さんに、その運営費を支援する仕組みを作りました。子どもたちがお店に行けば、いつでもおなかと心を満たせる社会を創造していきます。

感動こども食堂(ひな小町蒲田店) (2021.5~)

こども食堂を始めたばかりで、来る子どもたちもやっと慣れてきたところです。親御さんが普段なかなか子どもと一緒に食事ができない中、こども食堂に来ることによって少しでも家族の時間ができ、子どもたちの口から「ありがとう」「おいしかった」という言葉が出ることにやりがいを感じています。今後は、この場所が子どもたちが遊んだり、勉強したり、親同士もゆっくり話せるような、ふらっと立ち寄れる場所にしていきたいと思っています。

無料 税込500円

感動こども食堂 LINE

北良-Kitara- (2020.1~)

店主は幼少期、両親が共働きの家庭で育ち、家族で食卓を囲む機会が少なかったことから、「家族でごはんを食べる楽しみや会話の大切さ、温かさを感じられるような場にしたい」という思いで活動しています。

北良-Kitara- Twitter

Steak Hamburg SOH (2020.1~)

飲食店のこども食堂ということもあり、外食の楽しさや食材にこだわった手作りの味を提供していくことを大切にしています。地域の皆さまの憩いの場として喜んでいただけるよう、年齢制限を設けずに開催しています。

Steak Hamburg SOH Instagram

こども食堂のためにできる2つのこと

このようなこども食堂の活動にご賛同いただける方は、右記の2つのことで、こども食堂の活動を応援できます。

1 こども食堂の活動を支援する寄付金の協力

社協の指定口座に入金していただければ、社協を通じて各こども食堂への活動支援に直接活用します。

おた社協 寄付金の活用例

こども食堂マップの作成等



2 食料寄付のご協力 (フードドライブ)

参加されたい方へ 賞味期限が2ヵ月以上あり、常温保存ができる食料をお寄せください

実施期間 常時受け付けています。午前8時30分~午後5時15分(日曜祝日・年末年始を除く)

実施場所 おた地域共生ボランティアセンター 社会福祉センター5階(西蒲田7-49-2 JR蒲田駅西口徒歩3分)

主に寄付していただきたいもの パックご飯、精米、パスタ、調味料、インスタント・レトルト食品、食料・果物の缶詰、飲料、お茶等の嗜好品、菓子類、乾物、乳幼児食品等

おた社協 フードドライブ HP

集まった食料は、おた社協を通じて各こども食堂へ分配し、活用されます!

フードドライブ

おた社協

ボランティアセンターよりお知らせ

お知らせ 1 生理用品・基礎化粧品など 無料でお渡しできます!

おおた社協では、区内在住・在学の方でお困りの方に、生理用品等をお渡ししています。社協の窓口にお越しの際「あいちゃんバッグをください」とお声掛けください。

受取方法 直接大田区社会福祉協議会5階窓口まで

対象者 大田区に在住・在学で金銭的なご事情で生理用品を購入できない方

受付時間 月～土(祝祭日を除く)8:30～17:15



↑詳しくはこちら

窓口にお越しの際は、「あいちゃんバッグをください」と伝えてください



お知らせ 2 ふくしのしごと市 (福祉のしごと相談面接会)

区内の社会福祉法人の福祉施設等での仕事に関するご相談をお受けいたします。求人情報は、11月12日より、大田社協のホームページにて公開いたします。

※中止をする場合は、開催3日前までに大田社協ホームページにてお知らせします。

日時 11月27日(土) 13:00～15:30

会場 池上会館2階 第1・2会議室

申込方法 当日会場へお越しください

申込・問合せ 大田区社会福祉協議会 (おおた福祉ネット事務局) ☎3736-2023



合同就職面接会 [予約制・無料]

高齢者採用を積極的に行う12社程度参加の予約制就職面接会を開催いたします。「就職活動」「社会参加」等、ご自身の今後の時間の過ごし方、状況に合わせた仕事探しをお考えの方、ぜひご参加ください。

日時 ①11月 9日(火)13:30～16:00 ②11月10日(水)13:30～16:00

会場 大田区消費者生活センター 2階 大会議室

定員 ①②共30名程度

申込 入場事前予約が必要です。問い合わせ先に電話もしくは来所にてお申込みください。

当日は面接を受ける企業の数の履歴書(写真添付)を持参してください。なお、10月19日(火)より、当所で求人詳細を公開予定ですので、来所のうえ確認してください。

問合せ 大田区 いきいきしごと ステーション ☎5713-3600 月～金(祝祭日を除く)9:00～17:00

※「災害等やむを得ない事情によって、中止となる事があります」※参加はマスク着用をお願いします。

地域福祉コーディネーターの活動紹介

地域福祉コーディネーターは、地域に出向いて困りごとを発見し、受けとめ、専門機関と連携したり、住民と協働して問題解決に取り組む「つなぎ役」です。今回は、地域福祉コーディネーターと一緒に地域課題に取り組んでいる団体を紹介いたします。

TOHOいえラボ&暮らしの保健室 (東邦大学地域連携教育支援センター)

西嶺町にある「TOHOいえラボ」は大学の実習施設ですが、「いえラボ」と「まち」の地域との連携力を生かして様々な活動を行っています。いえラボの施設・物品等の貸し出しや、医療関係者と地域住民等がフラットな立場で参加する「ココシリワーカーの会」「暮らしの保健室」でのちょっとした日常生活での健康の相談など、私たちの身近な保健室として、地域の交流の場として様々な活動を行っています。

今年度は、コロナワクチンの予約についても、行政や町会・地域福祉コーディネーターとともに支援を行いました。これからも医療関係者と地域で暮らす方の架け橋として暮らしのある「まち」の居場所として活動を続けていきます。

【開設日】 火・水・金 9:30-16:30 (金曜日はシニアステーション東嶺町に出前保健室)
【連絡先】 ☎6715-5278

TOHOいえラボの横井先生と御任先生に社協に実習に来ている実習生がインタビューを行いました。

実習生 暮らしの保健室ではどのような相談がありますか?

御任先生 色々な相談がありますがコロナで病院の面会ができずに、退院後に介護が必要となり、いえラボで退院時のご家族の介護の練習をしたこともあります。

実習生 いえラボではどのように過ごしてほしいですか?

横井先生 ふらっと来て、少しお話しして後は自由に。特になにもせず、ずっとお話ししているのもね、なにか違うかなって。地域に行ける場所があることが大切だと思っています。



大田区のボランティアさん募集

あなたにも できることが きっとみつかる!

活動を希望される方は、各施設へ直接電話でお問い合わせください。

【日】活動日時 【住】住所・活動場所 【募】募集人数・対象 【交】交通費 【問】問合せ先 【担】担当者

※新型コロナの状況により、情報が変わることがありますので、お電話でご確認ください。

高齢者の方との活動

お茶出し、配膳、レクリエーション補助など、デイサービス利用者が楽しく機能訓練するお手伝いをします。

【日】毎週 月～土 9:00～16:00の間の都合の良い時
【住】東雪谷1-13-1ウエルサイト東雪谷1階
【募】男女不問(高校生可) 【交】一律1,000円
【問】ジップ・山王リハビリ 【担】おおぬま・なかい ☎3748-6251

お茶出し、衣服の配布、簡単なデータ入力、備品の消毒・掃除など、利用者が心身共に元気になっていただくお手伝いをします。

【日】毎週 月～金 9:00～12:30/13:00～17:30 都合の良い時
【住】山王3-45-3 【募】男女不問(高校生可) 【交】一律1,000円
【問】山王リハビリテーション 【担】さとう・もり・かね ☎3772-5122

子ども

中央五丁目公園で毎週行っている冒険遊び場(プレーパーク)活動で、子どもたちの遊びの見守り・準備や片付け・運営のサポートなど。「自分の責任で自由に遊ぶ」をモットーに子どもの「やってみよう」を応援する子どものための遊び場です。

【日】毎週水曜日14:00～17:00
【住】大田区中央5-14-1 都営浅草線西馬込駅より徒歩15分
【募】10名 男女不問(高校生可) 【交】なし
【問】もっと遊べる五丁目公園の会 ☎3773-3791 【担】まつだ

児童養護施設で、日中の子ども(2～5歳児)の遊び相手や世話。保育士の方歓迎。

【日】毎週ご都合のよい曜日 7:00～20:00の間の4～8時間。応相談。
【住】大田区久が原4-2-1 東急池上線 久が原駅から徒歩15分
【募】女性 【交】実費支給
【問】聖フランシスコ子供寮 ☎3753-6768
【担】よねざわ・なかにし・おおき

病院

患者さんも年々高齢化しているため、不安を抱えながら来院する方も多いため、身近な存在として、患者さんに寄り添うボランティアさんを募集しています。

① 外来案内。自動再来機での受付のお手伝い、外来・検査室への案内など。
【日】月～金 8:30～12:00 曜日相談

② 入院手続きのご案内。入院される患者さんの受付や場所のご案内など。
【日】月～金 13:00～15:00 曜日相談

③ 病院内の図書室(からだのとしょつ)で、本やパンフレットの整理、司書の手伝いなど。【日】月～金 午前・午後 曜日相談

①～③共通 【住】大森西 6-11-1 大森病院 外来部門
【募】若干名(男女不問、高校生不可) 【交】なし
【問】東邦大学医療センター大森病院 【担】ひえだ ☎5763-6672

障がい者との活動

「おおむすび」連絡会(大田区生産活動支援施設連絡会)は、大田区内にある障がい者施設が連携して、施設利用者の工賃向上・社会参加を促進する取り組みを行っています。この取り組みを強化し広げるために、ボランティアを募集しています。

① おおむすび縁市場(自主生産品の共同販売)の運営のお手伝い。土・日のイベント時の販売スタッフ(平日もあり)。

② おおむすび商品(各施設の自主生産品)の開発の提案等。

③ おおむすびのPRに係る効果的な方法等の提案等。

【日】土・日(平日もあり)。その他 応相談
【住】志茂田福祉センター、区内商業施設等
【募】男女不問(高校生可) 【交】なし
【問】おおむすび連絡会・事務局(志茂田福祉センター) ☎3734-0763
【担】とみざわ Email: shinkama@city.ota.tokyo.jp

特技ボランティアさんご紹介

問合せ におた地域共生ボランティアセンター

100均 育脳おもちゃ作り 竹山麻美子さん

乳幼児期は「生きる力」の土台が育つ大切な時。「あそび」から「学び」が生まれ、学ぼうとするエネルギーいっぱいなお子さんにとって、特に手作りおもちゃは脳の発達に様々な刺激を与えてくれます。

そんな育脳に

つながるおもちゃ作りを100均でそろそろ素材だけで教えてもらえます。子育てに関する相談も可能です。



ヴァイオリン演奏 齋藤友加理さん

そもそもは災害ボランティアを希望してボラセンに見えたのですが、東京室内管弦楽団のヴァイオリニストとのことで、大田区在住の演奏家としてご登録いただきました。ヴァイオリンまたはアンサンブル『baumクーヘン』でも演奏ができるので、気軽にご相談くださいとのこと。(写真は上池台障害者福祉会館にて)



ちょっと気になる団体紹介



ボランティア スポット



もっと遊べる五丁目公園の会



「冒険遊び場」(プレーパーク)という「自分の責任で自由に遊ぶ」をモットーにして、子どもたちの好奇心を大切に自由な遊び場づくりが全国各地で行われています。

大田区でも、中央五丁目公園で毎週水曜日午後2時半から4時半まで開かれています。幼児から中学生まで約100人が参加しています。どろんこ遊び、水遊び、ハンモック、木工、おやつ作りなど、子どもたちは多くのことを体験できます。

普通の公園ではできないことを、大人が少ししかかわることで子どもたちに思いきり遊んでほしいと活動を続けてきているのが「もっと遊べる五丁目公園の会」です。10人ほどの地域のボランティアの手によって27年も運営が続けられてきました。

代表の松田和子さんはそのかわり方について、「大人が何かしてあげるのではなく、子どもたちに寄り添い見守り、活動しています」と話されています。

屋外での自由な遊びを通して、子どもたちに自主性や主体性、社会性やコミュニケーション能力を育んでもらいたい。そんな願いが込められた遊び場ですが、こうした場を開くにはプレイワーカーの常駐が必要で、それには行政の支援が欠かせません。メンバーが高齢化していくなかで切実に要望されています。



いま大森第三中学校のJRC部員たちが来てくれて、子どもたちも元気に遊んでいるそうです。若い世代のボランティアの参加を呼びかけています。

問合せ先 もっと遊べる五丁目公園の会

☎03-3775-3791

<https://www.facebook.com/gochome.playpark>

HPはこちら➡



おおむすび

『おおむすび』(大田区生産活動支援施設連絡会)は、大田区内にある障がい者施設が連携して、施設利用者の工賃向上・社会参加を目指す取り組みのことで。

この取り組みについて、地域の中で共に暮らす私たちにも応援できることがあります。

例えば...

軽作業の発注

企業の地域貢献の一環として



清掃やポスティング、封入作業、シール貼り等の軽作業をお受けしています。障がいのある方が作業を行い、それが施設利用者の工賃となり、やりがいや生きがいにもつながります。

「こんな仕事はどうか？」というようなものがあれば、是非お気軽に「おおむすび」事務局までお声掛けください。

**お菓子・
雑貨などの購入**

**美味しくいただくことや
広めていただくことが
支援につながります**



販売イベントではいつも大勢のお客様で賑わいます

各施設で製造している焼菓子や雑貨などの商品(自主生産品)を区施設(常時)や商業施設等(随時)で販売しています。手土産などに、心を込めて丁寧に作られたお菓子をご利用いただくことで、施設利用者の工賃向上につながります。

その他、パンやお弁当も製造しており、イベント等での出張販売も行っております。こちらについても是非ご相談ください。詳しくは、おおた生産連または大田区のホームページをご覧ください。

問合せ先 大田区生産活動支援施設連絡会(おおむすび連絡会)

[事務局:志茂田福祉センター] 〒144-0056 東京都大田区西六郷1-4-27

☎3734-0763 FAX. 3734-0797

E-mail: shinkama@city.ota.tokyo.jp



↑おおた生産連 HP



↑大田区 HP

ボランティアコミュニケーション配置ご協力ありがとうございます

大森郵便局/蒲田郵便局/田園調布郵便局/千鳥郵便局/大田東嶺町郵便局/田園調布駅前郵便局/とくもち歯科医院/マンガハウス萩中公園前店/喫茶色えんぴつ/京浜島勤労者厚生会館/宮下耳鼻咽喉科/東六郷リサイクル・エコ/東急スポーツオアシス多摩川/ホームセンターコーナン本羽田萩中店/さわやか信用金庫各支店/大田区浴場組合加盟の各浴場/各車いすステーション

上記のほか、大田区関係施設(特別出張所・図書館・文化センターなど)や区内の福祉施設にも配置しています。



「ボランティア・コミュニケーション」は偶数月に発行しています。掲載は無料です。次号12・1月号掲載申込み、11月5日まで受付中です。